

中期経営計画 [2020-'22] 総括 長中期経営計画 [2023-'30] の見直し

- I. 前中期経営計画 [2020-'22] 総括
- II. 長期ビジョン [2020-'30]
- III. 長中期経営計画 [2023-'30] の見直し
- IV. 新中期経営計画 [2023-'25]

2023年5月10日

三和倉庫株式会社

I. 前中期経営計画 [2020-'22] 総括

●分析

営業収益（計画未達）

- ・ サプライチェーンの寸断等により、在庫の積み増し傾向が強まったことに加え、新規に稼働した千葉事業所の危険物倉庫、川崎事業所の危険物立体自動倉庫の高稼働による保管数量の高止まりによる保管料収入の伸長
- ・ 新型コロナウイルスの影響等により荷動き低迷し、運送料、荷役料は大きく減収

営業利益（計画達成）

- ・ 保管数量高止まりによる保管料の伸長
- ・ 荷動き鈍化による運送料等の外注費の削減

計画未達成の要因

- ・ 荷動き鈍化、出庫減による運送料、荷役料の減収
- ・ 日曹二本木工場（カリ事業）の構造改革
- ・ E Oローリー供給工場変更に伴う稼働減

計画達成の要因

- ・ 荷主の在庫積み増し傾向
- ・ 千葉・川崎事業所危険物倉庫の早期段階でのフル稼働
- ・ 利益率の高い保管収入の増加
- ・ 適正料金の収受
- ・ 荷動き低調による運送料等の外注費削減

- ・ 不正アクセスによるサーバ障害に起因する売上、利益に於ける顕著な影響は認められず

●課題

営業収益

- ・ 新規顧客の獲得
- ・ 再保管先の確保（ネットワーク拡大）

営業利益

- ・ 適正料金の収受
- ・ 高収益顧客取引拡大

生産性向上

- ・ 倉庫リニューアル
- ・ IT技術等による省人化

品質向上

- ・ 受注業務の合理化
- ・ 物流安全推進
- ・ 働き方改革への取組

Ⅱ．長期ビジョン [2020- '30]

● 10年後の目指す姿と経営目標・戦略

経営理念

私たちは顧客に対し誠意を持って接すると共に、**安全で迅速・正確なサービス**を提供するためにたゆまぬ努力を続ける

10年後の目指す姿

- 物流事業を主軸とし、保険事業との協働で業務を展開
- 物流：危険物、毒劇物、医薬品への特化による収益性・付加価値の向上
- 保険：日曹グループ会社及び従業員への積極的な支援
- 会社の発展と従業員の幸福感が連動できる企業

経営目標・戦略

- 営業利益50%アップ
- 老朽化した倉庫の建替えの実施と資産の移動による事業所の再編（10年間で総投資額90億円）
- ITを利用した業務の合理化の推進

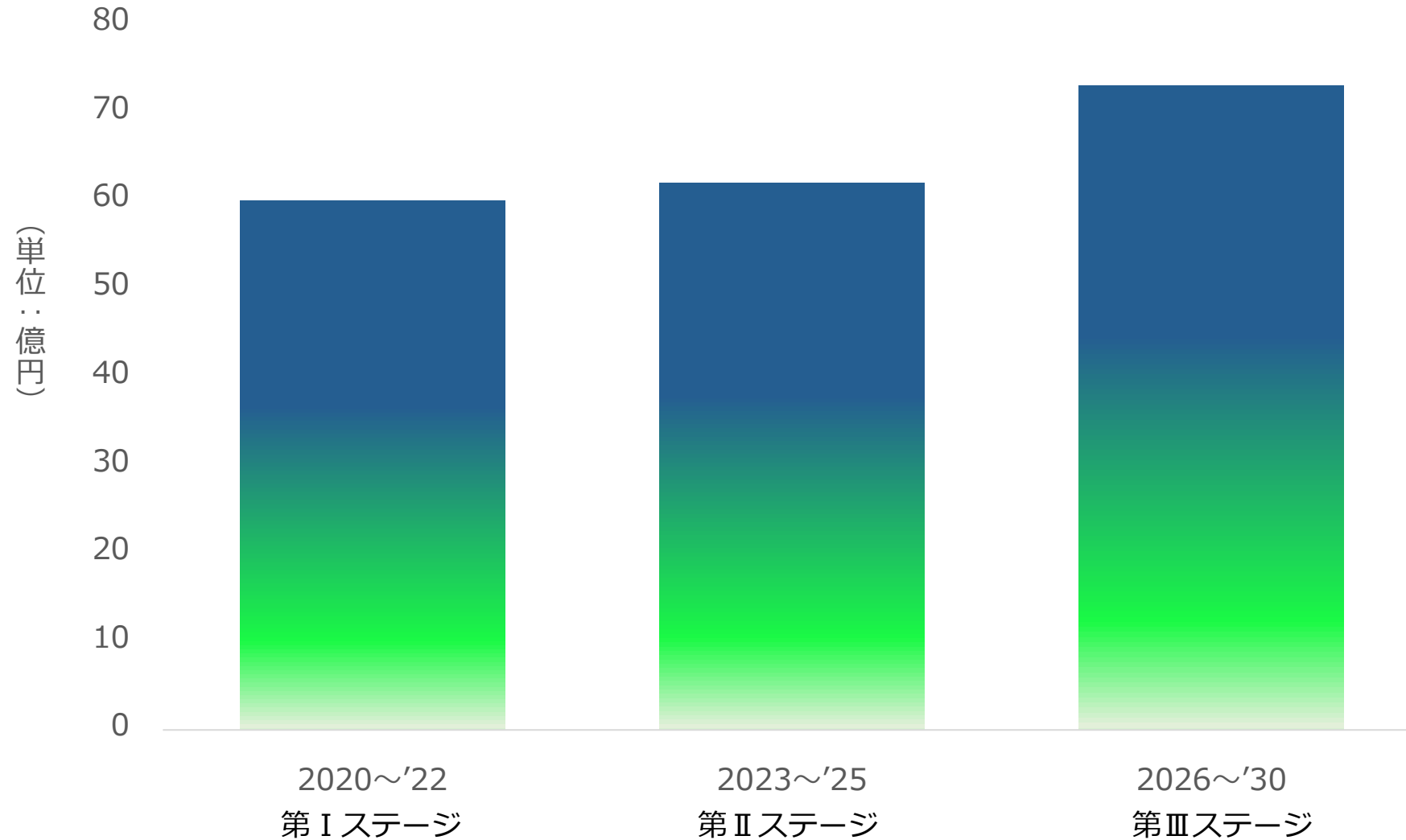
Ⅲ. 長中期経営計画 [2020~'30] 見直し

2020年3月12日に長中期経営計画を策定したが、新型コロナウイルスの感染拡大によって、経営環境は大きく変化した。コロナ禍での業務、それに対する反省、新たに生じた課題等と経営環境の変化に対する対応等を織り込み、施策等を見直した長中期経営計画を作成した。

長中期経営計画	10年後の目標姿	<ul style="list-style-type: none">・ 物流事業を主軸とし、保険事業との協働で業務を展開・ 物流：危険物、毒劇物、医薬品への特化による収益性・付加価値の向上・ 保険：日曹グループ会社及び従業員への積極的な支援・ 会社の発展と従業員の幸福感が連動できる企業
	目標・戦略	<ul style="list-style-type: none">・ 営業利益50%アップ・ 老朽化した倉庫の建替えの実施と資産の移動による事業所の再編・ I Tを利用した業務の合理化の推進
	コロナ禍外部環境変化	<ul style="list-style-type: none">・ 安全、品質への顧客からの要望・行動の変化・ 同業他社の危険物倉庫等への参入と競争激化・ 働き方の変化と業務効率化の両立・ 人口減少に伴う労働力不足・ 環境規制等への強化と加速

Ⅲ. 長中期経営計画 [2020~'30] の見直し

営業収益推移



IV. 新中期経営計画 [2023- '25]

経営目標達成を支える重点項目

重点項目	営業戦略推進
1. 物流事業の収益力強化	<ul style="list-style-type: none">・既存主要顧客の深耕による取扱い貨物の拡大・各拠点のリニューアルに伴う倉庫の増床・医薬品（定温・危険物）、医薬品原料（定温・危険物）等、高付加価値貨物の流通加工等を含めたきめの細かいサービスの提供
2. 適正料金の収受	<ul style="list-style-type: none">・得意先別収支の把握、分析・高収益顧客との取引拡大と利益率の向上
3. 業務効率化	<ul style="list-style-type: none">・自動化、ITを利用したオペレーションの効率化、省人化による利益率向上・ロボティクス等省人化テクノロジーと人との協業
4. リスク管理	<ul style="list-style-type: none">・防災管理・労働・安全衛生管理・サイバーセキュリティ対策・設備等の保全と将来を見据えた更新
5. 人材育成	<ul style="list-style-type: none">・人事制度と社内外教育の充実、個人のスキルアップの連動・デジタル人材の育成・働き方改革推進・社員満足度の向上・グループ内人的交流
6. 三倉運輸との協業	<ul style="list-style-type: none">・国内危険物等に特化した輸送業務の競争力向上・三和倉庫と連携し、事業所ニーズに対応した専門性の高い輸送業務の構築

IV. 新中期経営計画 [2023- '25]

~ 2025

~ 2030

		新中期経営計画 [2023-2025] (第IIステージ)	長期ビジョン (第IIIステージ~)
主要施策	営業戦略	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点リニューアルに伴う取扱貨物の見直し 倉庫リニューアルに伴う貨物移管先との連携と収益確保、更には取引拡大 現行料金の見直し・収益改善 医薬品・医薬品原料などの高付加価値貨物の取扱拡大 得意先のニーズに対応したカスタマイズ配送による独自性の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 既存主要顧客の深耕による取扱い貨物の拡大 高付加価値貨物の流通加工等含めたきめの細かいサービスの提供 得意先別収支の把握、分析 高収益顧客との取引拡大と利益率の向上 配送サービスの安定供給
	経営基盤	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化設備の更新工事等の計画推進 インボイス制度・電子帳簿保存法対応 サイバーセキュリティ強化 (ISMS取得) デジタル人材の育成 安全対策費導入 リサイクル率の向上とエネルギー原単位の抑制 三倉運輸との配送業務連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点のリニューアルに伴う保管能力の拡大 自動化、ITを利用したオペレーションの効率化省人化による利益率向上 堅牢な情報セキュリティの構築 ロボテクス等省人化テクノロジーと人との協業 労働安全品質の向上と維持、継続的改善 SDGSへの参画 配送サービスの充実
	投資計画	<ul style="list-style-type: none"> 千葉 危険物倉庫(平屋)第2期 大東 危険物立体自動倉庫 横浜 普通品 (医薬品対応) 倉庫 大東 事務所・普通品倉庫 川崎 事務所 	<ul style="list-style-type: none"> コア資産への資本集中とノンコア資産の処分